

7 事後調査の結果

7.1 水質汚濁

調査項目：濁水の浮遊物質量

予測した項目：工事の完了後における降水に伴い発生する濁水の浮遊物質量

7.1.1 調査地域

事業区域及びその周辺とした。

7.1.2 調査手法

(1) 調査事項

- 1) 濁水の浮遊物質量
- 2) 予測条件の状況（植栽等の状況、雨水浸透施設の設置状況）

(2) 調査時点

工事の完了後である平成30年の降雨時とした。

調査実施日を表7.1-1に示す。

表 7.1-1 調査実施日

調査事項	実施日
濁水の浮遊物質量	平成30年9月27日

(3) 調査地点

調査地点を図7.1-1に示す。

事業区域に接して流れる残堀川の事業区域上流端(No.1地点)、同じく残堀川の事業区域下流端(No.2地点)及び事業区域から残堀川への放流水の主な流出口(No.3地点)の3地点とした。なお、残堀川は通常時は水の流れがない枯れ川である。

残堀川の水位は、平成29年1月に設置された東京都の残堀池下調査地点の値を、雨量は東京都の立川観測地点(東京都北多摩北部建設事務所内 事業区域南東約2km)の値を用いた。



写真 7.1-1

残堀川への放流水の流出口(No.3地点)

(H30.9.27)

河床との高低差が小さいため、水位上昇時には水没する。